

専 門 科 目	授 業 形 態	演 習	4 単 位 (2 単 位 × 2 期)
科 目 名	口腔細菌学演習		
テ ー マ	う蝕・歯周病細菌学		
開 講 時 期	木曜 5 限		
授 業 場 所	分子遺伝学分野 (旧口腔細菌学) 第一研究室		
担 当 教 員	小松澤 均		
G I O	う蝕・歯周病発症における口腔細菌と宿主との相互作用を理解する。		
S B O	う蝕発症の機序を説明できる。 歯周病発症の機序を説明できる。 口腔細菌の病原性因子についてその性状を理解できる。 口腔内での宿主の抵抗性について理解できる。		
授 業 内 容			担 当 者
<p>う蝕・歯周病発症における口腔内細菌との関連性ならびに口腔内細菌の病原性、全身性疾患への影響等について文献などにもとづき説明できる。</p> <p>1：細菌侵襲時の歯肉上皮細胞の応答、特に抗菌性ペプチドやサイトカインと細菌の相互作用についての理解ならびに抗菌ペプチド産生性や抗菌活性法などの研究方法について演習を行う。</p> <p>2：歯周病原菌の病原性因子について遺伝子・タンパクレベルで病原性発現の機序について論文に基づく理解をし、またその機序の解明に必要な研究方法について演習する。</p> <p>3：う蝕の発症機序や現在報告されているう蝕予防法などについて演習を行い、臨床応用に向けたう蝕予防法などの立案を行う。</p>			小松澤 均
教科書・参考書	特定の教科書・文献は使用しないが、適宜紹介する。		
評 価 基 準 および方法	レポートによる評価…40%、積極的な授業への参加…60%		
時 間 外 対 応	オフィスアワー	随時対応	
	メール・HP	hkomatsu@denta.hal.kagoshima-u.ac.jp	
	授 業 後	授業後に相談等の対応を行う	
そ の 他			

注) 次のページに、実験のシラバスのフォーマットがあります。

専 門 科 目	授 業 形 態	実 験	1 2 単 位 (2 単 位 × 6 期)
科 目 名	口腔細菌学実験		
テ ー マ	う蝕・歯周病原因菌実験		
開 講 時 期	月～金曜 4～7 限 土曜：1～6 限		
授 業 場 所	分子遺伝学分野 第4研究室		
担 当 教 員	小松澤 均		
G I O	口腔細菌を用いた基礎的研究を実践し、論文作製を行う。		
S B O	病原性細菌の病原性因子を解明するための研究を立案し実践することが出来る。 上記の研究過程で得られた結果をまとめ、考察することが出来る。 得られた結果に基づき論文を作製することが出来る。		
教科書・参考書	特になし。必要に応じて文献、参考書を紹介する。		
評 価 基 準 および方法	積極的な授業への参加、作製した論文を評価する。		
時 間 外 対 応	オフィスアワー	随時行う	
	メール・HP	hkomatsu@denta.hal.kagoshima-u.ac.jp	
	授 業 後	授業後に相談等の対応を行う。	
そ の 他			